



皆様、日々のお務めお疲れ様でございます。社内向け情報誌、第59号です。

WBCの影響あれこれ



野球の国際大会WBC日本代表が宮崎で行ったキャンプの観客数は約20万人で、経済効果は、なんと約22億円。加えてこれらが報道されたりなどのPR効果は50億円以上だそうです。全国規模だと、今年日本が優勝していれば約91億円の予想だったそうです。

地上波ではなくサブスクでの放送のみでしたので、日本敗退のときには「ネットフリ解約」がトレンド入りしました。年末の流行語に出るかもですね。

よく聞く経済効果とは？

大きくは直接効果と間接効果の2種類です。直接効果は、会場でのチケット代・グッズ代・飲食代、交通費などです。間接効果は、直接効果が発生するにあたっての必要な動き。グッズであればその材料費や運搬費、宿泊が伴えば、その旅費全般や食事代などです。

先の五輪で日本の経済効果は15億円超で大阪万博は3兆円超。イベント、凄いですね。

ふるさと納税

ちよこつとSDGs

改めてですが、SDGsのコーナーでふるさと納税を紹介する理由をちよこつと。

返礼品には工芸品などもありますが、基本的には食品系が圧倒的に多いですし、高級なお肉や新鮮な魚介というイメージを持つている方がほとんどでしょう。しかしながら工芸品も含めた「モノ」だけではなく、「コト」あります。イベントチケットや何かを作るなどの体験型などですね。そんななか、SDGsの取り組みを進めていく際の支援というものもあります。素晴らしい事業が沢山あります。

これらを紹介していくにあたりそもそものふるさと納税も知りつつ、そこに深く関わるiDeCoやNISAなど、国が推進する資産運用の話も確認し、仕事をして得られた対価をより効果的に活用できることを目指しています。ご家族はもちろん、親戚やご友人たちとも一緒に、心豊かな生活が送れるようになることいいなと思っています。

まずはどこから？



昨年の暮れで、amazonのふるさと納税も丸一年が経ちました。テレビのコマーシャルですとお笑い芸人の東京03が「さとふる」、元力士の貴乃花は「ふるなび」を担当していますよね。目にされた方も多いでしょう。これらはいわゆるポータルサイトと呼ばれる、様々なホームページを紹介するホームページです。これらのホームページで確認してから納税する(購入する)という流れが基本です。

どのホームページがいいのか？

日本国内の返礼品をひとつずつ観て行くのはまず不可能なくらい、凄まじい品数になっています。そのためポータルサイトの運営者は、色々な自治体の多種多様な返礼品である商品群を、各サイトの視点で分かりやすく並び替えて紹介しています。

ここで大事なのは「どのホームページで見ても、返礼品の内容と金額は一緒」ということ。税金なので同じです。Aのサイトで〇〇は500円だけBのサイトで〇〇は498円だった、ということはまずありません。そのためどこのサイトで買うかは、一般的にはホームページの見やすさや扱いやすさが決め手だったり、購入するときに使う支払い手段が自分に合っていたり、選ばれ方が変わるようです。

大手サイト以外でも掲載



「ウチの町の特産品は△△だから、これをふるさと納税の返礼品にしよう」と町役場が考えたとき△△を取り扱う農家や業者はそれ向けに生産します。このとき町から民間にお願いしますだけでなく、民間から町に提案することもあります。当然なんでも返礼品にはできませんから、町の審査だけできまさんから、町の審査だけでなく、ポータルサイト運営会社の審査もあります。この審査は簡単ではないので、通過するためのハードルも多くあります。閲覧率も高い大手ポータルサイトになれば尚更です。そのため大手サイトには掲載させていない返礼品(商品群)も多く存在しています。

ポイント付与禁止とは？



昨年の秋に国の決まりが新しくなり、ふるさと納税返礼品に対してのポータルサイトのポイント付与が禁止になりました。例えば楽天市場やYahooショッピングなど、ポイント付与率が大きくなるイベントの日がありますよね。このタイミングで納税(購入)するとポイントが貯まってお得です。そこで人気が集まります。すると当然他のポータルサイトで選ぶ人が激減します。大手以外のサイトにしか掲載されていない返礼品(商品群)を持つ自治体は当然困ります。そのためポイントを廃止することで、閲覧率が平等になるような仕組みとなりました。

ふるさと納税取り扱いホームページ自体がそもそもたくさんありますので、次回はそちらの違いを紹介します。

学校は春休み期間中です。日中に子どもたちが多く動きますので、車の走行中だけでなく駐車場などでも充分ご注意ください。安全に頑張りましょう！

「これまでもみやり専務の」 「これからもア리가とう」



4月は役所や会社の年度初め、新学期新入社など色々な面で一年間のスタートラインです。

満開の桜、菜の花と心を楽しませてくれます。しかし世の中は色々な出来事があり、どんな展開を示すのか不安です。物価高に続き石油の高騰と追い打ちを受け、私たちの業界には一番大きな打撃です。価格の転換も難しい現状、一人一人がそれぞれ努力し考えて行動することが大事です。

くれぐれも安全運転で、お互い声を掛け合い仕事に励んで良いスタートを切りましょう。

【4月のお誕生日】

- 1(水)○○○○さん
- 10(金)○○○○さん
- 12(日)○○○○さん
- 13(月)○○○○さん
- 17(金)○○○○さん
- 19(日)○○○○さん
- 20(月)○○○○さん
- 21(火)○○○○さん
- 25(土)○○○○さん

